

ぬまた 市議会だより

第69号

3月定例会

令和5年
5月1日



令和5年度沼田中学校入学式
中学校入学おめでとうございます

内容

令和5年度予算
3月定例会 など



沼田市議会HP

令和 5 年度予算



一般会計 220億5千万円

対前年度比
1億円増

予算審査特別委員会を設置し、正副委員長にそれぞれ茂木清七議員、山宮敏夫議員を選出して、令和5年度予算関連議案を延べ6日間にわたり審査しました。

令和5年度予算では、**子ども医療費の給付拡充**、**横塚工場適地発掘調査事業**、**浄水施設改良事業**などの新規事業や優先主要事務事業のほか、観光宣伝事業、シン・ヌマタ事業、ハッピープロジェクト事業、市町村乗合バス運行事業などが計上されました。新規事業や生活に密接した事業などに対して様々な観点から活発な質疑を行いました。

細部にわたり審査を行った結果、「課題解決と未来への投資 ～未来へつなぐ持続可能なまちづくり～」の実現に向けた施策を実施するために必要な予算であると認めるとともに、市民の生活に寄り添うきめ細やかな事業実施がなされるよう期待し、いずれも原案のとおり可決しました。

予算編成のキーフレーズ

課題解決と未来への投資

～未来につなぐ持続可能なまちづくり～

予算編成の基本方針

◆感染症への対応と今後の円滑な市民生活の実現のため各種施策の充実

課題解決の実践

市内経済の活性化

生活基盤の整備

子育て支援等の未来への投資

討論

予算に反対

(一部抜粋)

地方自治体ですから住民福祉の増進のための施策や事業と判断しています。しかし、残念ながらいくつかの事業については、問題点を指摘せざるを得ません。中心市街地土地区画整理事業は、住民の意見をよく聞いて、事業期間を延長するのであれば、基本計画の見直しを含めて、やり方は徹底的に見直すべきです。できれば土地区画整理事業自体を廃止していただきたい。

予算に賛成

(一部抜粋)

市長から「森林文化都市」に対する強い思いや、施策の展開のアウトラインが披瀝されましたが、10年先を見据えながらも、危機感を持ち日々を大切にしようとする、不転の決意と責任を持つて時代を紡いでいこうとする強い意思を垣間見ました。市民が明るく希望を持つことができる日々が到来する芽吹きのできる予算となることを確信し、賛成討論とします。

福

福祉医療費（子ども医療費の対象を高校卒業まで拡充）

疾病の早期発見、早期治療により重症化を予防し、安心安全な子育て環境を整えるため、助成対象年齢を拡大し、高校生世代の医療費の自己負担分が無償化となります。

子どもの福祉医療費受給資格は、これまでは中学校卒業まででしたが、令和5年4月からは高校卒業までとなります。

医療費を無償化するには、受給資格者証が必要になります。

令和5年度から高校2年生、3年生になる方は申請手続きが必要になります。



横

塚工場適地発掘調査事業

横塚工場適地の県による産業団地造成事業が進められていますが、埋蔵文化財包蔵地であることから、発掘調査を実施し遺跡の記録保存を行います。
※埋蔵文化財包蔵地…埋蔵文化財は、地域の歴史や文化を理解する上で欠くことのできない貴重な文化遺産であり、破壊されると復元することはできません。埋蔵文化財包蔵地と把握されている区域内で土木工事を行う場合は、事前に発掘調査が必要となります。



令和4年度に実施された確認調査の様子

浄

水施設改良事業

沼田浄水場は、昭和43年、昭和53年に整備・改造された施設を中心に構成されています。

耐震性能は現行基準に対して脆弱で、法定耐用年数を待つことなく改築・更新が必要です。交換部品が製造終了するなど修繕も困難になっています。

修繕費は年々増加傾向であり、早期の更新が望まれていました。

これらの問題を解決するため、現在の浄水場よりも標高の高い新規用地にて施設を更新することになりました。



老朽化が進む浄水場

ココが気になる!! 新年度予算

議案の審査に当たり、市に対して様々な質疑を行いましたので、一部を紹介します。

サテライトオフィス等誘致事業

予算額 250万円

Q 事業内容は。

A 市内に新たにサテライトオフィスを設置又は本社等の移転を行う企業等に対し、補助金を交付することで、サテライトオフィス等の誘致を推進します。

補助金は、サテライトオフィス等開設費補助金と雇用拡大促進補助金の2種類を合算して交付するもので、開設費補助金は、建物改修費等を対象として、200万円を上限に、経費の3分の2、雇用拡大促進補助金は、100万円を上限に、市民の常勤雇用1人あたり10万円を交付します。



沼田給食センター給食費

予算額 1億8,965万円

Q 中学3年生の給食費を無料とした理由と地元食材の使用をどのように増やすのか。

A 子育て世帯への経済的支援のため、中学3年生の給食費を無償化することで、公平公正な観点に立ち、財政面で市長部局と協議が整ったものです。

週3回の米飯給食には利根沼田産コシヒカリを活用し、野菜をはじめとする食材もできる限り地元食材を活用できるよう取り組んでいます。献立を工夫するなど、地元食材の使用を増やせるように、努めていきたいと考えています。



ごみ処理広域化事業

予算額 2,826万円

Q 事業内容は。

A 利根沼田地域から排出される一般廃棄物を、共同で安全かつ効率的に処理することを目的に、処理施設の集約化などの広域化を行います。

令和5年度の事務内容は、利根沼田広域市町村圏振興整備組一般廃棄物処理推進室への派遣職員の人件費、広域化基本構想策定業務委託料、複合機・公用車等の経常経費などの負担金です。



予防接種事業

予算額 1億4,546万円

Q おたふくかぜ予防接種委託料、带状疱疹予防接種委託料の事業内容と対象者数は。

A 満1歳から5歳未満の幼児を対象に、おたふくかぜワクチン接種に対して1回3千円の接種費用を助成します。対象者は、288人を見込んでいます。

带状疱疹は50歳以上で接種を希望する方に対し、ワクチン接種費用の助成を行います。ワクチンは2種類あり、水痘生ワクチンは1回の接種で5千円、不活化ワクチンは2回の接種で、それぞれ1万円を限度に助成します。対象者は、760人を見込んでいます。



観光宣伝事業

予算額 4,830万円

Q 事業内容は。

A 本市への誘客を図るための観光宣伝委託料をはじめ、観光案内所の運営、市の単独及び県と連携した広域観光キャンペーン実施のほか、広告やSNSによるPR、および各種観光団体・実行委員会等への補助などを行います。



観光案内所

小水力発電施設整備事業

予算額 1億7,920万円

Q 小水力発電施設の概要と売電開始時期はいつになるのか。

A 旧平川小学校前から上流約1.3キロメートルの左岸側に設置する発電所で年間約2千MWhの売電を行う予定です。売電開始時期は、工事完成後の試運転期間等を考慮し、令和5年12月を見込んでいます。



埋蔵文化財調査センター管理事業

予算額 1,589万円

Q 事業内容は。

A 市内遺跡発掘調査の拠点として、戸鹿野町にある「旧給食センター」の改修を進めているところで、令和5年度は、出土資料などの運搬委託料などを計上し、文化財資料の整理、保存に取り組みます。



埋蔵文化財調査センター

シン・ヌマタ事業

予算額 790万円

Q 事業内容と効果は。

A 令和5年度の主な施策は、本市魅力の再発見が期待される風の谷具現化に係る調査研究、新商品開発等支援業務です。
AI×データ時代における「沼田市」の再生と人材育成を図り、新商品開発に留まらず、人的交流による利根沼田地域の活性化、利根沼田のブランド価値の向上、市民のシビックプライド醸成などの効果が期待されます。

ハッピープロジェクト事業

予算額 1,120万円

Q 結婚新生活支援補助金の増額理由は。

A 結婚新生活支援補助金は、令和4年度は補助額が夫婦共に39歳以下一律30万円でしたが、令和5年度から、夫婦共に29歳以下の場合は補助額が30万円から60万円に引き上げられたことから、増額となりました。



市町村乗合バス運行事業

予算額 1億3,880万円

Q 路線バスやデマンドバスの利用及び乗車方法の周知をどのように行うのか。

A パンフレットを目にしやすい主要施設に設置し、主に利用が見込まれる高齢者層が集まる場に積極的に出向くことで、密度の高い周知に努めていきたいと考えています。



デマンドバスぬまくる

3月 定例会

3月定例会は、2月21日に開会し、3月15日までの23日間、条例の改正、令和5年度予算、令和4年度補正予算、人事など計36件と、議会からの請願1件を審議しました。
また、11人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

高校卒業まで

医療費を無償化

福祉医療対象年齢を高校生世代まで拡充するため、福祉医療費支給に関する条例の一部を改正しました。

公民館跡地を暫定活用

解体後、空き地となっている中央公民館跡地の暫定的な利活用を図るため、舗装等の工事を行う費用2,400万円を追加補正しました。



利活用が期待される中央公民館跡地

特別職の給与を減額

令和4年度に引き続き、令和5年度に、市長、副市長及び教育長の給料を減額します。
市長は16パーセント、副市長は13パーセント、教育長は10パーセント引き下げます。

議会報告会・意見交換会 に関する検討

広報広聴委員会で検討を進めてきた議会報告会・意見交換会は、政策形成サイクルの枠組みの一部をなすものであり、現時点での検討の進捗等を考慮すると、広報広聴委員会のみではなく、議会改革総体の枠組みで考えるべき段階になりました。

また、議員間での共通認識の醸成にも一定の時間を要することから、改選後の議会運営委員会において、引き続き検討を進めることとしました。

老神温泉崩落箇所に関する 要望書を国・県に提出

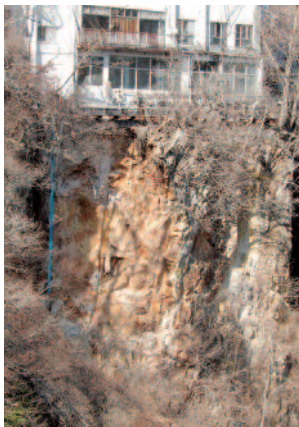
老神温泉街中心部の休業中の宿泊施設の真下の河岸に、大きな落盤が確認されました。

このままではさらに崩れ、当該施設が、片品川に倒壊することとは時間の問題であり、隣接する営業中の宿泊施設にも影響が及び可能性も高くなります。

沼田市単独による解決は困難であり、その解決を求め国・県に要望書を提出しました。

要望内容

崩落の危険性の高い箇所の危険度測定とともに、速やかに安全対策を実施していただきたい。



老神温泉崩落箇所

人事案件

・固定資産評価審査委員会委員

須田重一氏
小林守氏
赤井幸夫氏
井上英雄氏

請願1件を趣旨採択

総務文教常任委員会で「義務教育国庫負担制度負担率の引き上げにより教育格差を解消し少人数学級の拡充・教職員定数の改善により教育の充実を国に意見書の提出を求める請願」の審査を行いました。

請願は、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるとして義務教育費国庫負担割合を引き上げることや、少人数学級の実現及び教職員の定数改善を推進するよう、国に対して意見書提出を求めるものです。

「法改正により県も大変であり、国に対し意見書を出すべき」「極めて大事な問題であるので採択すべき」といった意見や、「国県の負担割合や高校の少人数学級まで踏み込むのはいかかか」「理解はするが、各地方議会での盛り上がりが必要」「教職員の働き方改革は引き続き必要であるが、当市では少人数学級はある程度実現している」との意見がありました。

表決の結果、賛成多数で、「趣旨採択すべきもの」と決しました。

一 般 質 問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。このページの内容は、質問した議員がそれぞれ自ら編集したダイジェスト版です。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

桑原 敏彦	イノベーションによる地方創生
山宮 敏夫	沼田市財政と安心に暮らせるまちづくり
小野塚正樹	沼田市の除排雪問題
金子 浩隆	「中学3年生だけ」の「給食費の無償化」
藤井美和子	防災メールの充実・リスクリング・学習環境
高柳 勝巳	これからの農業 給食の有機化 校則の見直し
井上 弘	介護保険料を下げるための取組を
大東 宣之	経済対策、デマンドバス、地域づくり
青木 一郎	防災行政無線に対する総務省の見解は
井之川博幸	希望を持って暮らせるまちづくりを
星野佐善太	森林文化都市沼田の発展を願う

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

イノベーションによる地方創生

桑原 敏彦



Q 若者の起業実現に向けた「起業」誘致条例の制定について伺います。

A 創業支援センターを設置し、ぬまた起業塾やインキュベーションオフィスを運営していますが、変化する社会情勢を踏まえ、施策の充実について研究していきたいと考えています。



ぬまた起業塾第8期生閉講式

Q 高齢者の健康増進のためのマイレージ制度導入について伺います。

A 健康づくりや介護予防の取組を推進するとともに、沼田市シルバー人材センターの活動を支援しています。雇用と就労の視点から、研究していきたいと考えています。

Q 移住・二地域居住に向けた賃貸用の空き家の状況を伺います。

A 「ぬまた暮らしの物件情報バ

ンク」として、ホームページで発信しています。2月10日現在、賃貸物件は6件です。

Q てんぐーを活用したふるさと住民票の導入について伺います。

A 昨年10月に14の自治体を取り組んでいることを確認しています。平成13年度に準市民制度を始め、登録者数は約3,100人です。帰郷機会の創出や経済的効果を期待して、てんぐーポイントのプレゼントを行っています。

Q 企業や人を呼び込むネットワークの構築と組織編成について伺います。

A 企業誘致推進条例に基づく各種優遇制度を活用した誘致活動を進めています。企業の移転により、新たな人の流れが促進されるよう研究していきたいと考えています。

Q 企業誘致を確実に進めるための人材確保について伺います。

A 関係機関と綿密な連携を図り、人材の確保につながる取組を進めていきたいと考えています。

一般質問

沼田市財政と安心に暮らせるまちづくり

山宮 敏夫



Q 財政状況に関して市長の率直なお考えは。

A 非常に厳しい状況ではありませんが、ここからが正念場であると認識していますので、知恵を出し合いながら、必要な施策に全力で取り組んでいきたいと考えています。

Q 物価高騰・燃料高騰に係る財務状況について伺います。

A 現在の状況を勘案し増額計上しています。

Q 今後のコロナ対策・対応と取組について伺います。

A マスクの着用については、個人の判断に委ねますが、高齢者や基礎疾患のある方が罹患した場合には、適切に対応していきたいと考えています。

Q 災害停電時におけるテラス沼田の電力供給と避難訓練について伺います。

A 災害対策本部となる庁舎4階南側区画の電源供給を最優先とし、停電時は非常用電源より供給されます。また、避難訓練に

ついては、消防計画に基づき適切に対応していきたいと考えています。

Q 災害危険箇所所周知と対策について伺います。

A 防災マップやホームページに掲載し周知を図っているほか、防災出前講座などの機会に、危険箇所を確認いただいています。

Q 老神温泉、崩落危険箇所の対応について伺います。

A 民間の方が所有する廃業された温泉宿泊施設があり、倒壊につながる危険もあるため、早急な崩落箇所の対策工事が必要であると認識していますが、管理区域の認識の違いから、対策工事の実施には至っていません。



老神温泉、崩落危険箇所の様子

沼田市の除排雪問題

小野塚 正樹



【除排雪の現状について】

Q 沼田市の除雪機械と対応するオペレータの人数に不足はないのかをお聞かせください。

A 除雪機械の不足は無いものの、機械を操作するオペレータについては、業界全体の作業員の高齢化もあり、人員の確保も、年々厳しい状況にあると思われます。

Q 沼田市の排雪体制の現状を伺います。

A 大雪となり、除雪だけでは円滑な通行の確保が難しいと判断した際に、業者だけの判断ではなく、市からの指示により作業を行うこととしています。

Q 除雪困難世帯の間口の除雪支援についてどのような検討がされているか伺います。

A 家の間口や車庫前の除雪につきましては、地域住民の皆さまにお願いしている状況です。

【保育施設での送迎バス児童置き去り防止対策について】

Q 民間保育施設が行う対応への

市の関わり方について伺います。

A 送迎バスを所有する民間保育施設へのサポートを行っていきたいと考えています。

【次世代につなぐ水道事業について】

Q 浄水場の更新を見据えた水道料金以外の収益の検討について伺います。

A 新たな収益を得るための方策を、研究していきたいと考えています。



「中学3年生だけ」の「給食費の無償化」

金子 浩隆



Q「昨年の私の一般質問の議事録を一部読み上げます。
「給食費の無料化を求める請願の審査がされました。」

「家庭の事情で給食費の納入を待ってほしいという保護者からの手紙を差し出した時の子どもの悲しい表情、寂しそうなたまごさが忘れられない。子どもには誰一人責任はない。すべての子どもたちにこんな悲しい思いをさせてはならない。」

「不返転でそこは臨んでいる」とも答弁されています。

「新年度予算(案)に示された「中学3年生だけ」の給食費の無償化について、市長の考えを伺います。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」

「A子育て世帯への経済的支援のため、公平公正な観点に立つて、中学3年生の給食費を無償化することとしました。高校受験などで出費がかさむ時期に配慮したものです。」



沼田市学校給食センター

防災メールの充実・リスクリング・学習環境

藤井美和子



Q「防災ぬまたとホッとメールぬまたの現状と普及率向上のための取組について伺います。」

A「Jアラート情報、災害時の避難情報、消防・防災・防犯といった情報をより広く、迅速に伝達することを目的とし、登録者のスマートフォンにプッシュ通知で情報を配信することで、生命と財産を守ることを目的に導入しました。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」

「A国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。」



Q「リスクリング(学びなおし)について取り組んでいることがあのか伺います。」

A「国では「人への投資」の抜本的強化の方針を掲げ、リスクリングを通じたキャリアアップ支援の取組を推進しています。本市経済の持続的発展のため、リスクリングに意欲的な企業や個人を後押しする仕組みづくりが重要であると認識していますので、関係機関と連携し、研究していきたいと考えています。」



Q「子どもの家庭学習のためのタブレット活用について伺います。」

A「学習支援ソフト」を導入し、学校や家庭において、個々の習熟度やペースに合わせて、繰り返し学習に取り組める環境を整えてきました。」

「学習支援ソフト」やその他の教材の効率的な活用など、一人一台端末を活用した家庭学習の充実について、引き続き研究していきたいと考えています。」

「学習支援ソフト」やその他の教材の効率的な活用など、一人一台端末を活用した家庭学習の充実について、引き続き研究していきたいと考えています。」

「学習支援ソフト」やその他の教材の効率的な活用など、一人一台端末を活用した家庭学習の充実について、引き続き研究していきたいと考えています。」

「学習支援ソフト」やその他の教材の効率的な活用など、一人一台端末を活用した家庭学習の充実について、引き続き研究していきたいと考えています。」

一般質問

これからの農業給食の有機化校則の見直し

高柳 勝巳



Q「惑星の限界」が、確実に迫っている中であって、理想の農業を積極的に奨励・推進する姿を、子どもたちの世代へ行動で示していくことが、非常に重要と考えています。

そして「みどりの食料システム」の趣旨を市長の言う「未来への投資」の一つに据えるべきと思います。が考えを伺います。

A県では、基本計画を35市町村と共同して定めることとして、現在、取りまとめています。

環境に優しく持続可能な生産から消費を進められるよう、国の基本方針、県の基本計画に則り、進めていきたいと考えています。

Q学校給食へ有機栽培の米や野菜を提供することも優位性の一つとして「定量の市場が確保」されることにあり、無償化と共に両輪として取り組むべき「未来への投資」と考えています。

A学校給食への有機農産物の提供は、一年を通して、質、量と



もに安定的に供給される必要があり、生産農家数の増加に向けた施策や生産量、出荷先の確保などについて、生産者の声も聞きながら、関連部局、関係団体と連携し、研究していきたいと考えています。

Q「校則の見直し」過程を通じた児童・生徒の主体性の向上と家庭を含めた信頼関係の醸成について伺います。

A児童生徒の参画や、保護者などからの幅広い意見聴取、制定から運用、見直しまでの各過程における配慮事項などについて、市校長会協議会等で周知を図り、各小中学校が、同一歩調で取り組んでいけるよう努めているところです。

介護保険料を下げるための取組を

井上 弘



Q沼田市の介護保険料は、見直しごとに値上がりが続け、第一期の倍以上になっています。介護保険料を下げるためにどのようなことに取り組んでいるか伺います。

A高齢者の健康づくりや介護予防の取組として、保健師や栄養士などが指導する運動教室や筋力向上トレーニング事業等を実施し、生活習慣病予防や社会生活を営むために必要な機能の維持、向上に取り組んでいます。

引き続き、関係機関と連携し、介護予防事業の推進に努めていきたいと考えています。

Q健康で長生きできる環境づくりが、介護給付費、医療費の抑制にも繋がります。健康寿命延伸にどのように取り組んでいるか伺います。

A若い世代からの健診受診や生活習慣改善のほか、高齢期には、簡単な筋トレなどを行う介護予防教室をはじめ、「高齢者の暮らしを広げる10の筋力トレーニング」を「福老体操」として推奨し、各地区で普及啓発を図っています。

Q沼田市のヤングケアラー、またはヤングケアラーと思われる子どもの実態はどうなっているか伺います。

A昨年7月に市内の小学校5年生から中学校3年生までの児童・生徒と学級担任を対象にアンケート調査を行っています。

「ヤングケアラーに当てはまると思う」と回答した児童・生徒は、小学生3・6%、中学生1・3%。「ヤングケアラーに当てはまる児童・生徒がいる」と回答した学級担任は、小学校6・9%、中学校15・7%です。



市政を問う!!

経済対策、デマンドバス、地域づくり

大東 宣之



Q 新型コロナウイルス感染症や物価高騰による市内経済の影響と今後の支援についてどのように取り組むのか伺います。

A コロナ禍に加え、物価の高騰により、市内経済は依然として厳しい状況であると認識しています。今後も、国や県の施策を参考に、効果的な支援施策を検討していきたいと考えています。

Q デマンドバスの利用状況、評価と課題についてどのように検討されているのか伺います。

A 現在の利用状況は、月に千人程度、1日平均約40人が利用しています。今後は、利用者の予約アプリの操作に対する不安の解消など、課題解決に向けた対策を講じる必要があると考えています。



Q 利用者の増加についてどのような検討、取組がされるのか伺います。

A 1月に乗車前の予約受付時間の変更や、運行時間の延長を行います。今後も広報ぬまたや市ホームページなどを活用し、周知を図っていきたく考えています。

Q 公共施設等総合管理計画の進捗状況と市長としてどのように評価しているのか伺います。

A 進捗状況は、昨年3月の公共施設の保有量が策定時の93・87%で、一定の成果はあったものと評価しています。

Q 市民の合意形成と今後どのように取り組むのか伺います。

A 市民サービスの低下を招くことのないよう、安全で持続可能な公共施設の実現に取り組みたいと考えています。

Q 地域の課題解決に向けてどのように取り組むのか伺います。

A 地域と行政は情報を共有し、相互に役割を整理しながら取組を進めたいと考えています。

防災行政無線に対する総務省の見解は

青木 一郎



Q 総務省に出向き調査された結果を踏まえた解決方法について伺います。

A 利根町地区の防災行政無線の更新に向け、国との相談・協議してきた経過において、双方の認識に齟齬があったことが分かり、一自治体で使用できる電波は一つに限らない整備が可能であることが確認されました。



Q 老神温泉のシンボル、内楽橋のLEDライトアップなどによる集客効果アップの調査・研究について伺います。

A LEDを用いたライトアップにより、観光客誘致に効果を上げている地域があることは承知しています。また、コロナウイルス感染症の影響が残る老神温

泉の活性化策は、大変重要な課題であると考えていますので、老神温泉の活性化に最も必要である宿泊者増加に向けた施策について、利根町観光協会などの関係団体と検討していきたいと考えています。

Q 新規就農者を対象にした一歩踏み出した支援について伺います。

A 新たに農業を開始する方に対して、経営が不安定な就農直後の資金を助成する支援や機械・施設等の導入を支援する「経営発展支援事業」などがあります。

資金面の支援と併せて、利根沼田農業協同組合、利根沼田農業事務所及び農業委員会と連携し、技術面や農地確保などの支援を行うとともに、受け入れ農業者と就農希望者のマッチングを支援するなど、農業への人材の一層の呼び込み、就農意欲の喚起と就農後の定着を図っていきたく考えています。

※その他：地域外への流出支出

希望を持って暮らせるまちづくりを

井之川 博幸



Q岸田政権の「原発回帰」政策に対する見解を伺います。

A本市では、東京電力福島第一原子力発電所の事故で、さまざまな影響を受け、現在も続いている状況ですので、動向を注視していきたいと考えています。

Q再生エネルギーを活用したまちづくり推進について伺います。

A「沼田市地球温暖化対策実行計画」の新たな実行計画の基本方針に「再生可能エネルギーの導入及び利用の促進」について掲げることとしています。

Q文化の殿堂・拠点施設の整備について市長に伺います。

A中央公民館や各地区公民館が、その役割を担っていたと認識しています。当面、改修されたウエルプラザ（保健福祉センター）などの施設を活用いただきたいと考えています。

Q市の計画にある介護医療院の設置について伺います。

A現在、群馬県において対応しています。

Q加齢性難聴に対応する補聴器購入への助成の実施について伺います。

A今後、研究していきたいと考えています。

Q3歳未満幼児保育料の無償化実施について伺います。

A国や県に対して継続して要望するとともに、調査・研究を行うていきたいと考えています。

Q本市産業の継承・発展を目的とする市独自の産業後継者への支援制度、仮称「就業交付金」の実施について伺います。

A支援制度の充実に向け研究していきたいと考えています。

Q公契約条例の制定について伺います。

A国、県、他市町村の動向を注視していきたいと考えています。



除却された中央公民館



改修されたウエルプラザ

森林文化都市沼田の発展を願う

星野 佐善太



Q人口減少対策としての行政改革について伺います。

A経常的経費の削減を図るとともに、自主財源確保に向けたふるさと納税推進や企業誘致を行い、安定した財政運営に努めます。また、簡素で分かりやすい組織体制を構築し、新たな行政課題に適正かつ迅速に対応できる柔軟な組織を目指しています。

Q市民が主役の市政運営について伺います。

A市民の視点を重視した市政運営を実現するため、「市長とふらットーク」「未来共創会議」をスタートしました。また、住民や地域を主体とする、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりに取り組んでいます。

Q少子高齢化社会について伺います。

A「第2期沼田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、妊娠・出産・育児期における母子保健対策の充実などの支援を行っています。

Q総合計画（森林文化都市）の進め方について伺います。

A森林が貴重な地域資源であることを認識し、居心地のよいまちを作りたいと考えています。豊かな森林に加え、吹割の滝や河岸段丘などの観光資源、沼田城址公園や上之町の大正口マンエリア、真田氏の歴史などの文化資源があります。魅力発信、素材の磨き上げ、関係団体等との連携に取り組みでいきついたと考えています。

Q湘南新宿ラインの実現について伺います。

A首都圏と利根沼田地域が直結することで、観光面、通勤・通学などで利便性が向上するため、関係機関に働き掛けを要望しているところです。



満開の桜（沼田城址公園）